

```
function aiDrivenDev() {  
  const codeQuality = optimizeWith(AI);  
  const productivity = enhanceTeam(capabilities);  
  return { codeQuality, productivity };  
}
```



AI駆動開発ってどんな感じ?

```
// Gemini Code Assist  
import { gemini } from '@ai/code-assist';  
const assistant = new gemini.CodeAssist();  
assistant.improve(developmentProcess);
```

自己紹介



■ 名前：大山 雄太郎

■ 職種：Webエンジニア

■ 所属：

2022年4月～ 独立系Sier

2025年10月～ ベガコーポレーション

■ 経験：



生成AIの学習・教育Webサービスの開発



AI・生成系ツールの業務活用と推進



チームリーダー・要員調達など

</>

AI駆動開発とは...

...

AI駆動開発とは

⌚ 定義: AIを開発プロセスに組み込み、コード生成・テスト・レビュー・運用を自動化・最適化

👤 従来: 人手と経験に依存 → 属性化

⚡ AI駆動: プロセス最適化と品質標準化

🏢 主な活用領域:



コード生成

自然言語から関数やモジュールを自動生成



テスト

ユニットテストやE2Eテストの自動生成



レビュー

コード品質・セキュリティの自動チェック



運用・保守

バグ検出や修正案の自動提案

チームでの導入経緯



2023年

Duet AI for Developers 導入

コード補完・生成機能を活用した開発支援を開始



2024年～

Gemini Code Assist へ移行

より高度なAI支援機能で開発プロセスを進化



100万トークン処理

GPT-4 Turboの8倍、Claude 3の4倍のコンテキスト処理能力



プロジェクト横断理解

128,000トークンのコンテキストウィンドウで
プロジェクト全体を把握



高精度コード補完

Gemini 2.0モデル搭載により、より高精度な
提案を実現

とある企業での導入事例

50%

作業時間削減



対象

Java/SQLJ
約15,000ファイル



施策

生成AIによる
システムアップデート
作業支援



今後の展開

他言語対応
テスト工程への
AI活用拡大



実際どうなの？

...

具体的な活用シーン

チームでのAI駆動開発実践例



コード生成

自然言語での指示から関数やモジュールを自動生成



リファクタリング支援

既存コードの改善提案と実装支援



テスト自動生成

ユニットテストとE2Eテストを自動作成



エラー解決

エラーメッセージからの原因特定と修正案提示



コードレビュー自動化

セキュリティや処理速度の問題を網羅的にチェック

AI駆動開発で感じたメリット

コード理解の促進

AIによる説明生成ですばやくコード全体像把握

- 複雑なロジックやレガシーコードの読解をAIが補助
- 新規参入メンバーのキャッチアップや設計意図の確認も効率化

レビュー負担の削減

AIによる"セルフレビュー"で時短&労力軽減

- バグ・規約チェックを自動化、レビュー待ち時間を圧縮
- 人は本質的設計・ロジックに集中（付加価値向上）

セキュリティに対する高精度なレビュー

AIによる脆弱性・セキュリティリスクの検知も標準化

- 脆弱なコードパターンや秘匿情報の混入を自動検出
- 権限・暗号化処理・公開範囲のミスをAI視点で網羅的に指摘
- 人手では見逃しがちなパターンも検出（DevSecOps文脈で導入拡大中）

AI駆動開発で感じた課題

■ コンテキストの制限

⚠ 長期プロジェクトでのコンテキスト管理が課題

- 会話が長くなるとトークン上限に到達
- + スライディングウィンドウ方式で直近メッセージのみ保持
- + メモリツール活用で重要情報を外部保存し参照

曲 嘘（ハルシネーション）への対応

❗ AIが誤情報を生成するリスク

- ✗ 存在しない関数やライブラリを提案することがある
- ✓ プロンプトで「不明な場合は『情報がない』と回答」を指示
- ✓ 必ずファクトチェック・コードレビューを実施

⚡ 变化が速すぎる問題

⌚ AI駆動開発領域は技術・サービスのアップデートが頻繁

- ⌚ 新機能・料金・API仕様変更が毎月のように発生
- ⌚ 学習や運用体制も都度アップデートが必要
- ⌚ 繙続的キャッチアップが必須



まとめ

...

まとめ - AI駆動開発で見えた未来

AI駆動開発がもたらした具体的な成果

コーディング効率向上

レビュー時間削減

教育工数削減

EPOCHスキルが差別化の鍵に

- ✓ Empathy — AIには真似できない「共感力」
- ✓ Presence — 実際の現場での「存在感」
- ✓ Opinion — 責任ある「判断力と倫理観」

AI時代の価値創造

- ✓ Creativity — AIを超える「創造性」
 - ✓ Hope — 未来を切り拓く「リーダーシップ」
- AIと協働することで人間本来の価値が高まる

今日から始める3ステップ

- 1 プロンプトエンジニアリングの基礎を学び、AI活用の指示設計力を磨く
- 2 定型作業からAIへのタスク移行計画を立て、創造的業務に時間を確保
- 3 AI活用の知見共有会を定期開催し、全体のスキル底上げを図る

まとめ - 5つのEPOCH能力

E ❤️ Empathy and Emotional Intelligence (共感と感情知性)

感情を理解し、相手の状況に心から寄り添う力

P 🕊 Presence, Networking, and Connectedness (存在感・ネットワーク・つながり)

チームや現場での実際のつながり・信頼関係を築く力

O 巫 Opinion, Judgment, and Ethics (意見・判断・倫理観)

責任を持って状況判断し、意思表示や倫理的判断をする力

C 💡 Creativity and Imagination (創造性と想像力)

現実を超えた発想や新しい価値を生み出す力

H ⚡ Hope, Vision, and Leadership (希望・ビジョン・リーダーシップ)

困難や不確実性に向き合い、未来への道を切り拓く力